

第 24 回 芝富士地区まちづくり協議会（練馬区北町地区見学会） 議事要旨

（1）日時

平成 27 年 11 月 16 日（火）午後 12 時 30 分～16 時

（2）場所

練馬区北町地区

（3）参加者

- ・参加者：8 名（協議会 3 名、道路部会 2 名、公園部会 3 名）
- ・事務局：川口市 4 名、㈱首都圏総合計画研究所 5 名

（4）議事次第

1) 開会

（出発～バス内）

- ・スケジュール確認、見学ポイント紹介
- ・ゲスト（北町地区のまちづくりの検討会員）の紹介

2) 練馬区北町地区 見学

3) 意見交換 <北町二丁目町会会館>

4) 閉会・解散

【配布資料】

- ・資料（見学会の目的、北町地区の整備計画、事例写真、等）
- ・北町地区まちづくりニュース抜粋



(5) 議事概要 (○：住民、→：ゲスト、⇒：事務局)

1) 開会 (出発～バス内)

- ・会長からの挨拶。
- ・見学スケジュールの確認及び見学ポイントを紹介。
- ・ゲスト (北町地区のまちづくりの検討会員) の紹介。

2) 練馬区北町地区 見学

- ・以下の箇所を見学

電車の見える公園～主要生活道路 6 号線 (段差改善箇所)～北町ふれあい公園～生活幹線道路 A 路線～北町上宿公園～生活幹線道路 B 路線～田柄川緑道

3) 意見交換 <北町二丁目町会会館>

(北町地区の取り組み体制)

○：北町地区はいくつの町会が関わっているのか。

⇒：3つの町会と3つの商店会がある。公園等の検討に際しては、その近くの町会を中心にメンバーを構成している。

→：1人の方がいくつかの検討会に出ていることもある。

(道路の段差解消の検討について)

→：私は機会があって、まちづくりに関係する検討会に4つ参加した。その中の1つが道路の段差を解消するための検討会である。歩道と車道の約 15cm の段差の解消についてユニバーサルデザインの視点などから検討を行い、その結果、車の出入りがあるところはインターロッキングの色を変える等の工夫が実現した。

(北町ふれあい公園について)

→：北町ふれあい公園のシンボルツリーの周囲にベンチがあるが、検討会では花壇で提案していた。それが設計・施工の中でベンチになってしまった。提案した内容が実際の公園などの整備に反映されるかどうか、気を抜かないで自分達で確認していくことが大事なので、その点には気をつけておくと良い。

公園の管理方法の検討について、北町ふれあい公園の検討会ではメンバーの方の多くが高齢の方だったこともあり、公園の管理委員会の設立に至らなかった。検討の中では、安全、防犯の面から出入り口に鍵を付ける話などもあったが、誰が鍵を持って開け閉めするのか等の問題を考慮し設置に至らなかった。防犯面について補足すると、公園が広がった時に園内灯が増え、夜でも顔が見える程度に明るくなった。その結果、夜間に子どもが集まったり酔っ払いが来ることが無くなった。

公園の現在の利用状況は、午前はお母さんと小さい子、午後は塾に行く前の子どもなど多くの人に利用されている。

遊具の使われ方については、実際に見に行ってみるとよい。健康遊具の他、トイレ、あずまやもそれなりに利用されていると思う。

視察の際に木が枯れているとの指摘があったが、これは水をあげていなかったわけではなく、今年の夏が暑かった影響が大きいと思われる。また、管理委員会等で植物の世話を

することを考えるのであれば水場は必要である。

トイレには、具合が悪くなった人が押す報知器があるが、これは直接警察等につながっていない。私が自宅で報知器の音を聞いて何度も連絡したり、見に行ったりした。

○：高低差を活かした坂の部分はよく使われているのか。

→：よく使われている。遊びが単純なので良いと思う。

(公園管理委員会について)

○：公園管理委員会はどのような単位で作っているのか。

⇒：公園ごとに作っている。最後に通った田柄川緑道と、3つめに見学した公園（北町上宿公園）でそれぞれ活動されている。

○：公園管理委員会の人数はどのくらいか。

→：区に認定してもらえる人数が決まっている。5～10人くらいかと思うが、実際に活動している方は少ないことがある。

○：川口市で練馬区の公園管理委員会のような仕組みはあるのか。

⇒：調べてみる。

(※川口市公園課に確認したところ、町会ではなく任意の団体に清掃等の公園管理を行っている事例もあるとのこと。)

(公園のメンテナンスについて)

○：メンテナンスは、区と管理委員会がそれぞれどの程度行っているのか。役割分担などがあるのか。

→：北町ふれあい公園を見ていると、週1回又は月3回程度、区から委託された業者の方が掃除に来ている。草刈は夏中心に3～4回来てくれている。

⇒：北町上宿公園の管理委員会は、約20人程度の方が関わっていると聞いている。毎日の開園・閉園や、朝の掃除、曜日や時間を決めての植栽の管理をされていると聞いている。

○：視察の際、電車の見える公園で掃除をされていた業者の方に聞いたところ、週3日やっているとのことだった。

○：川口市の場合、公園課から町会に管理を委託される仕組みがある。ただし、今は芝富士町会内では芝富士2丁目公園のみやっており、その他は市にやってもらっている。

→：練馬区の中村橋という町は業者の方が関わっていて綺麗になっている。

○：川口は造園業が盛んなので、関連づけられるとよい。

→：ベンチなど、色が剥げたりするが、その都度、区に相談すると結構対応してくれる。一方で、朝にラジオ体操をする人がその前後にゴミ拾いをされていたりするが、毎日少しずつそういった取組みをすることも公園をきれいに維持するためには効果がある。

(遊具の検討について)

○：公園の遊具は、地区のみなさんでどのようなものにしようか検討したのか。

→：検討の中で、区から資料が提示されて参考にした。自分では、あったらいいなと思った遊具が置かれている公園に行って実際に見てみた。遊具にも流行があると思うので、今の流行を取り入れるとよいと思う。

予算もあるが、みなさんで「ここだけは譲れない」ということをまとめると、後で後悔することはないと思う。

(水を流していた公園について)

→：地区内にもう1つ公園がある。20年程前にできたあおば公園は、当初水が流れる公園だったが、老朽化して詰まるので水を流すのを止めたり、砂場に猫が来て糞をする等で衛生面も不安が出てあまり使われなくなってしまった。また駅の直近なので、酒缶が捨てられたりもしていて、見かねた近所の方が掃除をしている。やはり、近くの方で管理をする方が良いと思う。

○：あおば公園は、設計が悪かったのか、管理が悪かったのか。

⇒：当初はよく使われていたことから設計に問題があるのではなく、水を流す機械のメンテナンスや電気代などのランニングコストがかかりすぎることが問題だと思う。

→：北町ふれあい公園でもミストを検討したが、風によって近所に水が飛ぶ可能性があることや、作動させる期間が夏場だけであること等を考慮して導入を止めた。

○：お話によると、メンテナンスに手がかかるものは長続きしないため、そういうものにしなないと良い、ということかと思う。

(園内灯について)

○：北町ふれあい公園で園内灯を明るくしたというが、近隣の方は明るすぎて迷惑するという問題はないか。

→：北町ふれあい公園では園内灯は夜も消していない。私は明るすぎるとは感じておらず、周りの方からもそのようなご意見は聞いていない。明るくなる前は未成年がたばこを吸ったりしていたり、警察を呼ぶことが多かった。明るくなって悪いことをする人が来なくなったので、明るくなったことは良いと思っている。

(北町上宿公園について)

○：北町上宿公園はできてどのくらい経つのか。人気のある滑り台がいつ頃からあったのが気になった。

⇒：5年前（平成22年8月）に開園した。

4) 閉会・解散

- ・バス内でアンケートを記入した。

★決定事項

- ・第25回協議会は、平成28年2月に開催とし、具体的な日程は改めて調整する。

以上